週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
©2010 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing／Amusement Press Japan
planning & production／Amusement Promotion
／Up Grade　printing／Four Plus One
本紙記事の無断転載を禁じます。

HEAD LINE

新機種紹介　パチスロ　『パチスロBLOOD+』タイヨーエレック　『ゼットゴールドEX』ネット
2面 ●「パチスロBLOOD+」展示会　タイヨーエレック
2面 ●無料パチンコ開催　プラザ商事・GAUDI・大鐘産業
2面 ●無料セミナー開催　ヒューマンリソースサポート
3面 ●ぱちんこあしたのジョー先行導入　京楽産業　●『サクラ大戦』ライブイベント開催　セガ
3面 ●短期連載「人財力で企業再生」　松村俊和
6面 ●新春企画「こんなホールがあったら」　●P-WORLD　週間導入ランキング
2面 3面 6面　年頭所感

2010年（平成22年）1月11日　月曜日　第208号（毎週1回発行）
APJ
本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）
パチンコ・パチスロ最新機種速報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2010年 1月11日（月曜日）
編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

年末年始営業速報

粗利低化に顕著に

稼働は微減、低玉貸しが貢献

景気悪化に加え、暦の上での休日も短かった今回の年末年始営業は、果たしてどのような結果となったのだろうか。DK・SISコンサルタントチーム常任講師の成田晋治氏に、DK・SISから抽出したデータを基に分析してもらった。併せて、本紙がホールに対して行ったアンケート結果を紹介する。

東和産業が経営するホールでは、店舗の内外で毎年工夫を凝らした正月演出を実施している（写真は『有楽町DUO』）

『太陽会館』の店内は、凧や羽子板、扇子などで正月の雰囲気を演出

全体粗利が大幅に下落

まずは、DK・SISから抽出した、全店（パチンコ・パチスロ）の年末年始営業の状況（以下、DK・SISのデータは全て通常営業、低玉貸し営業を含めた数字を見てみよう。

5年前から時系列で見ると、稼働時間は08年にやや回復したものの、その後は減少を続け、今回の年末年始営業では5・3時間にまで落ち込んでいる。

売上げを見ると、07年から大きく落ち込み始めている。これは、パチスロが5号機へ完全移行後、初めての年末年始営業だったことが影響している。その後も売上げの落ち込みは止まることがなく、今回の年末年始営業では、ついに3万円を割り込んだ。

粗利の落ち込みはさらに激しい。これまでは2桁の減少に止まっていたのが、10年は620円のマイナスとなっている。

ダイコク電機の成田晋治氏は「これまで、パチンコ、パチスロの業績はシーソーのようにどちらかの業績が悪くても、どちらかは良かった。09年はパチスロ業績は落ちていたが、MAXタイプを中心としたパチンコ業績が粗利の低下を押し止めていた。しかし、今回は、パチンコ、パチスロともに業績が悪化している。MAXタイプに頼りすぎた営業が限界に達したと見るべき」と指摘する。

本紙がAJnet会員を対象に行ったアンケートでは、景気悪化が影響したと回答したホールが7割に上っており、社会情勢も大きく影響しているようだ。

「車での来店が極端に減った。『初打ちしよう』と思われない方が多くなったのでは（東京都・主任）

「パチンコ稼働は150〜2000発、パチスロは1000枚ほど落ちている（福岡県・店長）と嘆く声があった。

年末年始営業に苦労するホールがある一方で、「遠出をしなかった人が多かったのか、年末年始を通して予想よりも稼働が良かった」（兵庫県・店長）という回答もあり、景気悪化の恩恵を受けたホールもあるようだ。

インターネット調査会社マクロミルが、年末年始の過ごし方について調べたところ、「自宅で過ごす」が71・2%でトップ。「親や義理の親が住む実家」が20・3%で、合わせて91・5%が「家で過ごす」と答えている。

首都圏のホール店長も「開店前の行列を見ると、普段見かけない顔のお客様が何人も並ばれていた。もしかしたら、里帰りで打ちに来られた方かもしれない」と振り返る。

パチンコ粗利が初のマイナス

本紙が行ったアンケートでは、今回の年末年始営業は、前回の年末年始営業に比べ、パチンコの稼働は「悪かった」と回答しているホールが過半数を超えている。粗利も「悪かった」という回答が5割弱に上っている。

DK・SISのデータでも、その傾向がはっきりと現れている。前回の年末年始営業はMAXタイプが営業の主軸になったこともあり、稼働、売上げは大幅に落ち込んだが粗利だけは上昇しており、過去最高を記録した。しかし、今回の年末年始営業は、稼働、売上げだけでなく、粗利までも下落した。

「粗利の低下は、導入が進んでいる低玉貸しの影響だけではない。ファンの投資金額減少に伴い、稼働が下がった影響も大きい」（ダイコク電機・成田氏）

もともと、土日祝日のパチンコ稼働は、MAXタイプの稼働が上がり、年末年始営業もそれは同じだ。しかし、ファンの投資できる金額が一定だと稼働が落ちるのは当然。加えて、「ミドルタイプの稼働は相変わらずよくない」（広島県・店長）というように、ミドル離れの影響も大きい。920個減で止まったのは、低玉貸しの高稼働によるものと見るべきだろう。

パチスロ業績底打ちの兆し?

本紙アンケートを見ると、今回の年末年始営業のパチスロ業績は、前回に比べて、稼働よりも粗利が「悪かった」という回答が多い。DK・SISのデータを見ても、稼働、売上げの下げは幅は縮小。粗利の下げ幅は拡大している。ダイコク電機の成田氏は、この結果に対して「ホールがパチスロの設定を入れた結果」だと推測する。

コイン粗利を見ると、これまでの年末年始営業の中で最低の0・51円となっていることから、パチスロが粗利重視の営業から、稼働重視の営業へと徐々にシフトしていることが分かる。

「昨年の後半に、『緑ドン』のように瞬発力のある機械や、『ヤウレカセブン』などの長時間打ってもも飽きのこない、そしてある程度の差枚が期待できる機種が揃ってきたことで、ホールもパチスロ営業に力を入れるようになってきた表れではないか」（ダイコク電機・成田氏）

ファンの支持が得られるパチスロが登場してきただけでなく、パチンコ営業に陰りが見えてきたことも、パチスロ営業を見直すきっかけになったと考えられる。

「パチンコの業績はやや落ちたが、パチスロの業績は昨年と同じような推移で、掘り起こすべきスリープ層がいることが認識できた」（静岡県・次長）と手ごたえを感じているホールもある。

DK・SISデータのお盆、GW、年末年始の長期休暇の業績を比較すると、これまで稼働が最も高いのはGWだが、最も粗利が高かったのは年末年始営業という結果が現れている。どのホールもこの時期に粗利を確保しようと躍起になっていた。しかし、「ここ数年で年末年始営業の位置づけが変化しており、収益確保の期間ではなく、客数がアップするタイミングで還元し、通常営業につなげる期間」（広島県・店長）だと捉えているホールもある。年末年始営業は利益重視、という営業手法を改める時期にさしかかっているのかもしれない。

◇

アンケートでは、今回の年末年始営業の業績を踏まえ、今年前半の業績はどうなると思うかを聞いた。その結果、「良くなる」と予測する、パチスロ業績に回復の兆しが見られるとの答えが返ってきた。

「昨年後半から、『ジャグラー』シリーズ以外でも稼働、粗利で貢献する機種が登場し始めてきた。今回の年末年始営業を見ても、甘めに使うようになっているので、この傾向が続けば稼働が向上し、粗利アップにつながっていくのではないだろうか」

今年の上半期をどう乗り切るのか。そのカギは、パチスロ営業にあるといえそうだ。

DK-SIS　2010年 年末年始データ〈期間集計〉

全店データ

	稼働時間	前年対差	売上	前年対差	粗利	前年対差
04.12/29〜05.1/4	6.0H	-	38,400円	-	6,780円	-
05.12/29〜06.1/4	5.8H	-0.2H	38,000円	-400円	6,860円	80円
06.12/29〜07.1/4	5.6H	-0.2H	35,700円	-2,300円	6,820円	-40円
07.12/29〜08.1/4	5.9H	0.3H	31,600円	-4,100円	6,730円	-90円
08.12/29〜09.1/4	5.5H	-0.4H	30,100円	-1,500円	6,650円	-80円
09.12/29〜10.1/4	5.3H	-0.2H	28,300円	-1,800円	6,030円	-620円

パチンコデータ

	アウト	前年対差	売上	前年対差	粗利	前年対差	玉単価	玉粗利
04.12/29〜05.1/4	28,390個	-	33,000円	-	5,570円	-	1.16円	0.20円
05.12/29〜06.1/4	27,030個	-1,360個	32,500円	-500円	5,660円	90円	1.20円	0.21円
06.12/29〜07.1/4	27,300個	300個	33,000円	500円	5,900円	240円	1.21円	0.22円
07.12/29〜08.1/4	29,910個	2,580個	34,900円	1,900円	6,970円	1,070円	1.17円	0.23円
08.12/29〜09.1/4	27,550個	-2,360個	32,600円	-2,300円	6,980円	10円	1.18円	0.25円
09.12/29〜10.1/4	26,570個	-980個	30,000円	-2,600円	6,270円	-710円	1.13円	0.24円

パチスロデータ

	アウト	前年対差	売上	前年対差	粗利	前年対差	コイン単価	コイン粗利
04.12/29〜05.1/4	13,060枚	-	47,500円	-	8,750円	-	3.63円	0.67円
05.12/29〜06.1/4	12,770枚	-290枚	46,300円	-1,200円	8,660円	-90円	3.63円	0.68円
06.12/29〜07.1/4	11,700枚	-1,070枚	40,000円	-6,800円	8,290円	-370円	3.42円	0.71円
07.12/29〜08.1/4	11,160枚	-540枚	24,800円	-15,200円	6,240円	-2,050円	2.22円	0.56円
08.12/29〜09.1/4	10,730枚	-430枚	24,100円	-700円	5,840円	-400円	2.24円	0.54円
09.12/29〜10.1/4	10,460枚	-270枚	23,600円	-500円	5,380円	-460円	2.27円	0.51円

DK-SIS　2010年 年末年始データ〈日毎〉

パチンコデータ　　は土日

日付	アウト 2010年	アウト 2009年	粗利 2010年	粗利 2009年	玉単価 2010年	玉単価 2009年	玉粗利 2010年	玉粗利 2009年
12月29日	26,760個	28,170個	5,300円	5,830円	1.13円	1.19円	0.20円	0.21円
12月30日	27,100個	27,800個	5,720円	6,210円	1.13円	1.18円	0.21円	0.22円
12月31日	19,930個	20,900個	4,740円	5,260円	1.17円	1.23円	0.24円	0.25円
1月 1日	22,680個	23,530個	5,580円	6,210円	1.13円	1.18円	0.25円	0.26円
1月 2日	27,540個	28,300個	6,950円	7,660円	1.12円	1.18円	0.26円	0.27円
1月 3日	30,750個	31,790個	8,080円	8,710円	1.12円	1.17円	0.26円	0.27円
1月 4日	31,240個	32,340個	7,550円	8,980円	1.12円	1.18円	0.24円	0.28円
平均	26,570個	27,550個	6,270円	6,980円	1.13円	1.18円	0.24円	0.25円

パチスロデータ

日付	アウト 2010年	アウト 2009年	粗利 2010年	粗利 2009年	コイン単価 2010年	コイン単価 2009年	コイン粗利 2010年	コイン粗利 2009年
12月29日	10,750枚	11,380枚	4,740円	5,270円	2.27円	2.23円	0.44円	0.46円
12月30日	11,140枚	11,490枚	5,130円	5,530円	2.25円	2.22円	0.46円	0.48円
12月31日	8,280枚	8,580枚	4,250円	4,470円	2.33円	2.31円	0.51円	0.52円
1月 1日	9,180枚	9,300枚	4,830円	5,220円	2.27円	2.25円	0.53円	0.56円
1月 2日	10,540枚	10,790枚	5,970円	6,380円	2.27円	2.24円	0.57円	0.59円
1月 3日	11,510枚	11,790枚	6,650円	6,900円	2.27円	2.22円	0.58円	0.59円
1月 4日	11,840枚	11,810枚	6,120円	7,110円	2.25円	2.25円	0.52円	0.60円
平均	10,460枚	10,730枚	5,380円	5,840円	2.27円	2.24円	0.52円	0.54円

※12月31日と1月1日は短縮営業の店舗があり、アウトは低くなっている

年末年始営業への自由回答

良かった

- 短かったが短い分利益を抜きやすかった（福岡県・店長）
- 年始は悪天候のため外出する人が少なく、家で正月を過ごす人が多かったのでは（愛知県・代表取締役）
- こまめに入替えを行なったため何とか凌げた。入替えをせず、稼働を優先させた営業では厳しかったと思う（東京都・主任）
- 景気悪化の影響で、遠出をしなかった人が多かったのか、年末年始を通して予想よりも稼働が良かった。通常以上の調整で年末年始は営業したので、良いアピールができたと思う（長野県・店長）
- 昨年より良い結果は出たが、客足は予測を下回った。昨年以上に舵取りが難しくなり、管理者の実力が試される年（東京都・マネージャー）

現状維持

- パチスロ全体の稼働を見ると、年末は昨年並みだった。帰省ラッシュや仕事始めなど様々な要因が考えられるが、「初打ちは20円貸して勝負」というお客様が多かったのではないかと考えられる。今年の年末年始が楽しみになってきた（千葉県・店長）
- パチンコ業績はやや落ちたが、パチスロ業績は昨年と同じような推移で、掘り起こすべきスリープ層がいることが認識できた（静岡県・次長）

悪かった

- 車の来店が極端に減った。初打ちという考えも出ない方が多くなったのでは（東京都・主任）
- お客様は昨年と比べて更にシビアになっている（大阪府・総務部長）
- 近隣に大型店が出店したのでその影響があった（愛知県・マネージャー）

今年の業況予想

良い

- 状況判断を間違わなければ、今年は順調にいく可能性があると感じた（静岡県・マネージャー）

現状維持

- 昨年以上の粗利を望むのは困難で、今年の目標は現状維持（東京都・班長）
- 今年はさらに景気悪化の年となり、業界は厳しくなる。業績は維持するのが限界だと思われる（愛知県・店長）

悪い

- 厳しい社会情勢の中、ホールも他企業同様に業績の低下は免れない（福岡県・店長）
- 今年は、自店の商圏で新店が続々とオープンする。強い店が勝ち、弱い店が負ける、業界にも格差社会が広がる（愛知県・営業部長）
- スロットの下げ止まり感はあるが、パチンコは更に悪くなりそうな感じがする。MAXタイプの鈍和・新台の短命化と末期症状にある（東京都・店長）

今後の営業への提案

- 稼働を上げて売りを増やし、粗利率を下げて昨年と同じ粗利額を確保する。そのために、ストレスを感じさせない調整で稼働を上げたい（東京都・班長）
- 今年は低玉貸しに限界が見えてくると感じる。今後はライトミドル機種をメインに営業することになると思う（神奈川県）
- 自店では昨年同様にコストを全体的に見つめなおし、費用対効果の出る、生きた経費の使い方を徹底追及していく（愛知県・店長）
- 毎年この時期は年間・半年・月間の計画を立てるが、短期修正する必要があればそうだ。店舗として大小イベントを多数準備し、タイミングを見ながらすぐに開催できる状態を作り、小さなチャンスでも活かしたい（東京都・店長）
- 低玉貸し導入に伴い、地方のホールでは利益の取りどころがなくなってきているのを感じる。低玉貸しは何らかの目的を持って導入しなければならない（東京都・主事）

新春特別コラム

2010年はこんなパチスロを望む

文＝ルーキー酒井

酒井達弘（ルーキー酒井）
とあるパチンコホールでスカウトされ、『パチスロ必勝ガイド』（白夜書房）の創刊号から攻略誌に携わる。その後、『パチスロ王』（立風書房）、『必勝パチスロ虎の巻』（マガジン・マガジン）を立ち上げる。『別冊パニックセブン』（白夜書房）で「腐的怪盗鬼」を連載中

このテーマを出されたとき、俺は大いに悩んだ。メーカーさんやホールさんに訴えかける原稿を書くべきか、それとも俺の妄想を書けばよいのか？　そんなところにタイミング良く担当編集者から新年の挨拶を兼ねた電話が……。

「酒井さんの望みを自由に書いて下さい」

ええ〜、妄想で良いとのことです。では、存分に！　しかもパチスロに偏って！

俺にとってパチスロで一番重要なモノ、それは何があってもボーナスである。パチスロを打ち始めて20数年経つが、その考えに変わりはない。出目、ランプ、サウンド、液晶など、形はどうであれパチスロがボーナス成立の合図を送る→俺がそれに気付く（同時にコイン獲得を思い浮かべる）……この瞬間に俺は多量の脳汁を垂らしているのだ。

続々と登場するART機に対し「良く出来た台だなぁ〜」とは思う。しかし、1Gあたり1〜2枚前後しか増えないゲームがダラダラと続き、それによりコインを得ていくことに俺は正直面白味を感じない。コインが増えていく過程の中で感情の起伏というモノが薄いからだろうか。やっぱパチスロはボーナスによりコインを増やしていくモノ。スランプグラフをドアップにしたとき、ボコッと一山ができていてなんぼ。その一山と同調するかのように発生する激しい感情の起伏がダマらんのである。欲を言うなら、それが連チャンすれば……。

俺が頭に思い浮かべているのは、4号機の『パチスロ北斗北斗の拳』を現行の規制の中で表現するならば、ATをボーナスで再現するのが正解なのではないだろうか。なだらかな線で描く長い一発（ART）じゃなく、小さい山（ボーナス）の連打で激しい線を作る……これだと思うんですが。ボーナス1回の枚数を少なくし、その代わりに確率を大幅アップ。そんでもって『400Gで300%未満』という規制ギリギリの線で作られた台を俺は打ってみたいと真剣に思っているんですが……。「こんなん北斗じゃねぇ〜よ！」と、ファンが不満の声を発するのは目に見えているけどね（そこはスマン！）。

となると、やはり規制緩和か！　うーん……どうやろか？　2010年、俺が個人的に望んでいることは、規制緩和はもちろんホール設定の緩和。こちらも非常に大事だと思っています。